

議 会

なかたね

だより

166号 令和5年2月10日発行

令和4年第4回定例会

決算認定	②～④
一般質問(6人)	⑤～⑪
令和4年度補正予算・契約	⑫～⑬
条例・議員活動報告	⑭
委員会レポート	⑮～⑯
発議・一部事務組合	⑰
移住者インタビュー・編集後記	⑱



二十歳のつと

充!災害対策も 比17.9%増

一般会計 決算額は83億円

決算特別委員会のあらまし

各会計の決算（令和3年度分）審査のため、去る9月27日から30日までの4日間、関係職員の説明を求め、決算特別委員会を開催しました。

令和3年度決算認定については、決算特別委員長から報告され、採決の結果、全会計について認定されました。各会計の決算額は別表のとおりです。

一般会計決算の概要

令和3年度の歳入歳出決算では、差引額5831万円で、翌年度への繰越財源や財政調整基金の積立金などを加味した実質単年度収支は、432万円の黒字決

算となりました。

前年度と比較すると、

歳入で1億8886万円、歳出で1億5172万円と、それぞれ減少しています。当初予算に對しては、12億7008万円（17.9%）の増となりました。

特別会計

3つの特別会計決算額の差引額は617万円で、前年度と比して、歳入で1億1259万円、歳出で1億1090万円それぞれ減少しています。

水道事業会計

収益的収入及び支出の差引で533万円の黒字で、損益計算書で302万円の当年度純利益となっています。

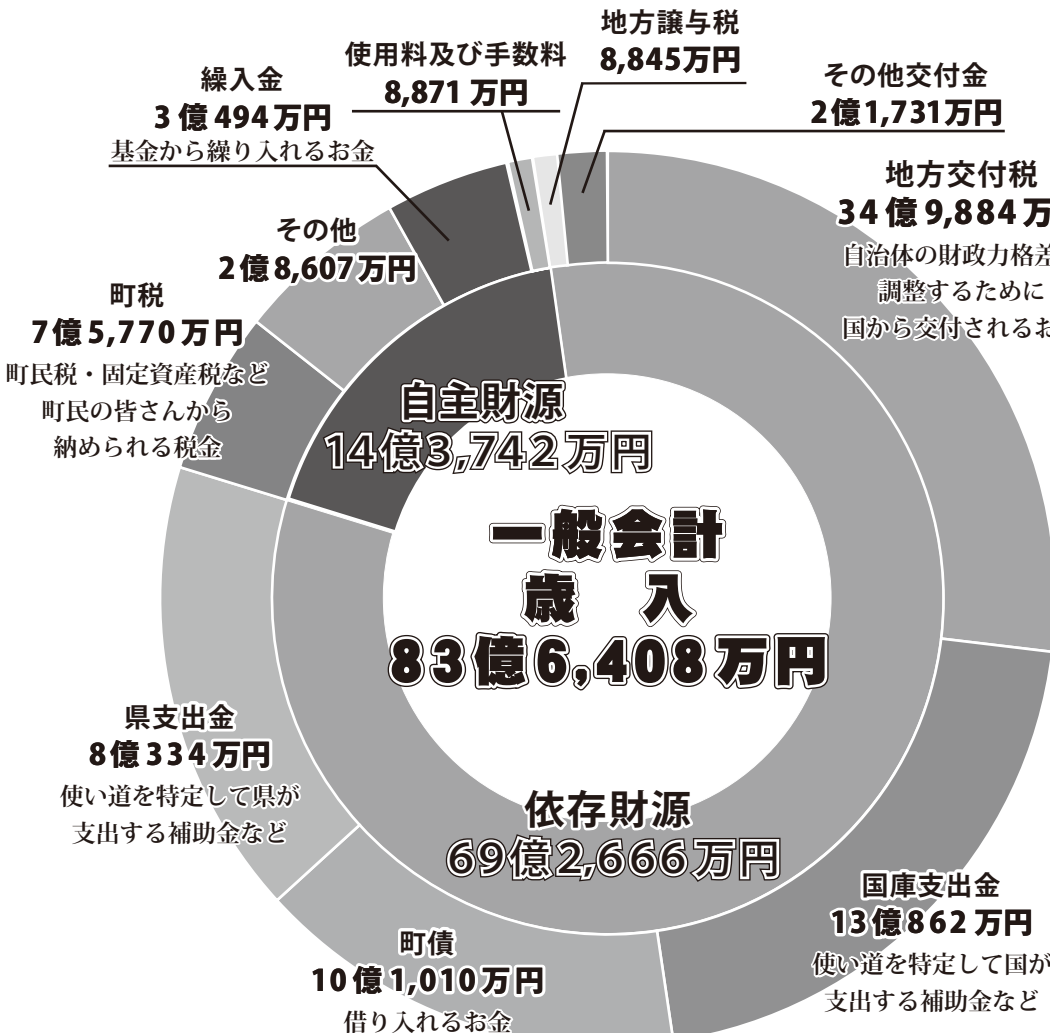
資本的収入及び支出の差引不足額1億397万円は、過年度及び当年度損益勘定留保資金と当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額から適正に補填されています。

監査意見

一般会計の財源については、依存財源が82.8%と非常に高く厳しい財政運営となっている。今後も、人口減少や高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症拡大に加え、ロシアのウクライナ侵攻による物流の混乱や急激な円安の影響により、社会経済は非常に不安定である。

そのためにも、本町が掲げている計画や目標を達成するため、関係人口の増加、雇用の創出に取り組んで頂きたい。

税収等の自主財源確保のためにも対策を強化し、収入未済額の解消、不納欠損処分防止に積極的に取り組み、計画的かつ効率的な行政運営により一層の町民福祉の向上・増進に寄与されるよう要望する。



令和3年度 生活支援対策を拡 対当初予算

決算

対当初予算

普通交付税の財源不足
借入の主なものは、
なりました。
り、昨年度と比較する
と9562万円の増加と
なりました。

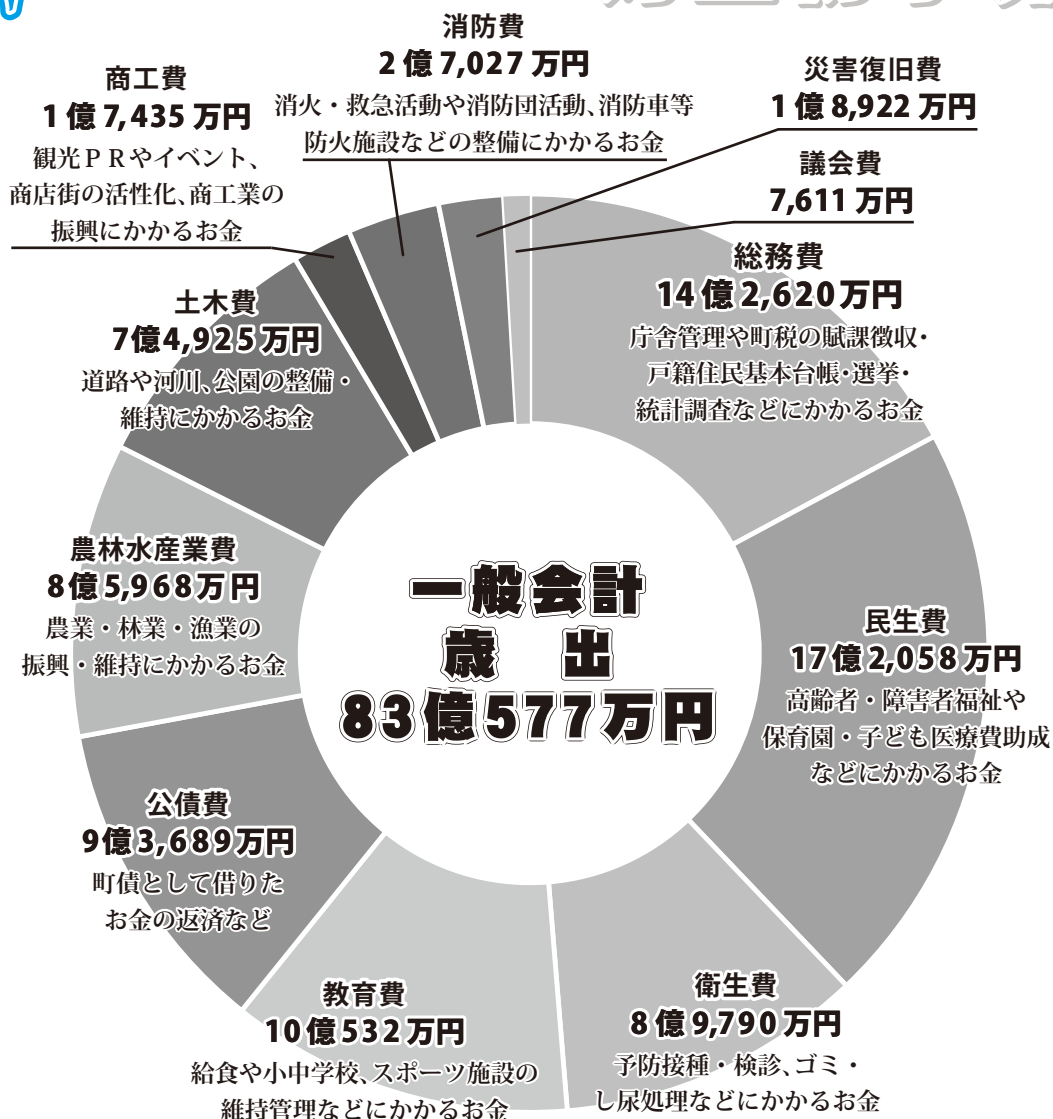
借金残高

84億135万円とな

を補うための借入金(臨
時財政対策債)1億53
10万円や、野間小学
校教職員住宅改修事業
8090万円、公営住宅
建設事業8910万円な
どです。

貯金(基金)残高

普通会計の基金は36
億5212万円で、昨年
度末と比較して3億86
40万円増加しました。



[別表]

令和3年度会計別決算状況と議決結果

区分	歳入(収入)	歳出(支出)	差引	採決の結果	
一般会計	83億6,408万円	83億577万円	5,831万円	全員賛成	
特別会計	国保会計	11億1,799万円	11億1,229万円	570万円	全員賛成
	介護保険会計	11億8,637万円	11億8,622万円	15万円	全員賛成
	後期高齢者医療会計	1億4,705万円	1億4,673万円	32万円	全員賛成
水道事業会計(収益)	2億9,304万円	2億8,770万円	533万円	全員賛成	
水道事業会計(資本)	※2億4,235万円	1億3,963万円	▲1億397万円		

※うち2億669万円は翌年度への繰り越し財源充当

決算特別委員会 での質疑・意見

問日高委員 さとうきび増産対策農道等補修事業で30カ所補修をしているがその効果は。

答 これまで、大雨など何らかの要因で通行できない道路を、通行できるようにするだけでも効果があると思います。

問橋口委員 昨年度からタブレット端末を活用して会議を実施しているが、これによる経費の削減効果は。

答 令和3年度の紙の枚数で25万2079枚の削減、金額にして50万4158円の削減効果となっています。

問永濱委員 毎年、トコブシの稚貝放流やイカ柴投入をしているが、その成果は。

答 令和3年度の水揚げについては、100kgほどしか揚がっていない。藻場の整備からしなければ、成果が上がらないのではないかと。

問浦邊委員 温泉保養センターの料金見直しがあったが、その後の収入状況は。

答 令和2年度からコロナにより平常時と比較はできないが、過去3年間の実績から言いますと、令和元年度の使料は640万円程度、令和2年度が312万円程度、令和3年度が716万円程度であり、持ち直している状況です。

問園中委員 公営住宅の駐車料金の滞納者は、住宅料の滞納者と一緒か。また、滞納者の中で最高額はどれくらいか。

答 住宅料の滞納者と、駐車料金の滞納者はほぼ一緒となっています。平成10年度以前から昨年度までで、住宅料が338万2100円。同じ方で駐車料金が13万2000円となっています。

問下田委員 子宮頸がんワクチンの接種状況は。

答 申し込まれた方の接種は19名となっています。個人接種は把握できていません。また、中学生及び高校生の接種対象者には通知をしています。



▲現地を確認

令和3年度の主な事業

住民税非課税世帯等 臨時特別給付金事業



コロナ対策として、住民税非課税世帯に対し臨時特別給付金(1世帯あたり10万円)を給付。

子育て世帯等臨時特別給付金事業



コロナ対策として、子育て世帯を支援するため、0歳から高校3年生までの子どもたちに、10万円相当額を給付。

避難所整備事業



各避難所に移動式空調機、大型扇風機、間仕切りマットなどを設置し、避難時の環境を整備。

新型コロナウイルス ワクチン接種体制確保事業



全町民を対象に、新型コロナウイルスワクチンの接種を計画的に実施。

一般質問

町政のそこが聞きたい!



永濱 一則 議員

- ・物価高騰に対する支援策は
- ・移住者の現状は



QRコード



池山 喜一郎 議員

- ・食料システム戦略への取り組みは
- ・農業公社のさらなる活用を
- ・耕畜連携システムの推進



QRコード



下田 敬三 議員

- ・種子島・屋久島自動車学校跡地の整理は
- ・町政評価の捉え方は



QRコード



橋口 涉 議員

- ・ワクチンの接種状況は
- ・通学路の安全性は



QRコード



戸田 和代 議員

- ・コミュニティバスの管理体制は



QRコード



園中 孝夫 議員

- ・花卉農家の後継者問題をどう考えるか
- ・「ウミガメ留学」の受け入れ状況は



QRコード

※QRコード・・・インターネットにより録画を見ることが出来ます。

一般質問とは

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、又は疑問をただすことです。

なお、議員一人につき60分の時間制限を設けています。



物価高騰に対する支援策は

町長 要請活動を積極的に



田淵川 寿広 町長

これも積極的にやってい

町長 これに関しては、情報収集に努め、状況を見ながら、各関係機関と連携をとり必要とあれば中央への要請活動なども積極的にやってい

町長 現時点では、空

影響が予想されます。これに関しては、情報収集に努め、状況を見ながら、各関係機関と連携をとり必要とあれば中央への要請活動なども積極的にやってい

町長 令和4年度につきましても「かんしょ重要病害虫被害対策事業」という国の事業ですが、発動されると聞いております。そうなった場合、現在有効とされる薬剤への支援、他作物への転換などへの支援になる見込みという風に聞いております。町単独事業としてもバイオ育苗苗資材、生分解性マルチなど各種補助事業を実施しているところがございます。また、町園芸産地確立事業を使って微生物資材を導入し、次年度産

町長 令和3年度の移住相談合わせの件数は、46件で住居に関する相談などが主なものと聞いております。その内、実際に移住された方は、13世帯、29名となっております。

●主要単肥の価格変動

分類	品目	成分 (%)	前期(春肥)比 (%)	
単肥	窒素質	尿素(輸入)	46	8.5
		尿素(国産)	46	7.7
		硫安(粉)	21	4.5
		石灰窒素	21	0.7
	りん酸質	過石	17	1.8
		重焼りん	35	2.2
	加里質	塩化加里	60	0
		けい酸加里	20	1.5

注： 価格変動率は本会の県JA・経済連向け供給価格ベースであり、JA・農家向け供給価格の変動率とは一致しない。

永瀆 一則 議員

永瀆 未だ先の見えな

永瀆 今年度作の甘藷

移住者の現状は
町長13世帯29名

町長 令和3年度の移

町長 令和3年度の移

町長 令和3年度の移

き家バンクの登録物件はございません。令和4年度は、5件登録されていますが、売買契約が2件、賃貸契約3件が締結されたところでございます。また、町の取り組みとして定住促進住宅整備事業補助金の制度を実施しております。また、島内への定住促進と良好な住環境の保全を図ることを目的として、1市2町と株式会社川商ハウスと種子島空き家空き地等の利活用に関する連携協定を結んでいるところでございます。専門知識を持つ川商ハウスの協力を頂き、移住定住促進事業の推進に努めてまいります。



食料システム戦略への取組みは

町長 県と同調し、基本計画を作成

池山 喜一郎 議員
健全な経済の発展を図りながら、持続的に発展することができるとして、社会に寄与することとして

池山 みどりの食料システム法が、令和4年7月1日に施行されました。これにより、地方公共団体は、国と適切な役割分担を踏まえて、その区域の自然的経済的社会的諸条件にに応じた施策を策定し、実施する責務を有するとしています。このことを踏まえ、本町ではどのような基本計画を作成しようとしているのか。

町長 みどりの食料システム法は、環境と調和のとれた食料システムの確立を図り、もって農林水産業の持続的な発展並びに国民に対する食料の安定供給の確保に資するとともに、環境への負荷の少ない健全な経済の発展を図りながら、持続的に発展することができるとして、社会に寄与することとして

農業公社を活用した更なる農業の活性化と振興について
町長「農業公社をメインに農家の皆さんと丁寧な協議を行う」

この目標達成に向けては、基本計画については、鹿児島県と市町村が共同で策定できることから、現在、県で全県統一の素案を作成しており、本町にも素案に対する意見や質問などの意向調査が来ています。実際の策定公表については、令和5年4月の予定となっています。

池山 種子島農業公社が設立されて27年が経過した現在、農業を取り巻く環境は大きく変化しており、農業公社の役割はなお一層重要になるものと思われる。今後、農業公社をどのように活用し、本町農業の活性化と振興を図っていくのか。

池山 種子島農業公社が設立されて27年が経過した現在、農業を取り巻く環境は大きく変化しており、農業公社の役割はなお一層重要になるものと思われ

町長 農業公社設立当初からすると、農業を取り巻く環境は大きく変化し、農業生産及び生産基盤の維持が難しい状況になってきています。その中で農業公社の役割は、なお一層重要度を増してきています。理事長として、本町の農業のあり方など、農家の皆さんの期待に沿えるよう、それぞれの作目分野の部会の皆さんと丁寧な協議をしながら、農業振興に努めなければなりません。その取り組みの中で大きな柱となるのは、農業公社であり、その責任があるものと認識しています。

耕畜連携システムの推進について
町長「関係機関によるプロジェクトチームを立上げ実装化へ」

池山 令和4年第一回定例会において、このことについて、「畜産経営体などからの要望を伺いながら、しっかりと検討し、確実なものをつくり上げていく」と、答弁がありました。その後どのように進められているのか。

町長 現在、畜産経営体や関係機関からの情報収集を進めており、今後、耕畜連携システムに育苗関係を含めた、農業分野における総合的なシステムを再構築し、実装化して行くための、関係機関によるプロジェクトチームを立上げる方向で、調整しています。

町長 現在、畜産経営体や関係機関からの情報収集を進めており、今後、耕畜連携システムに育苗関係を含めた、農業分野における総合的なシステムを再構築し、実装化して行くための、関係機関によるプロジェクトチームを立上げる方向で、調整しています。



▲バガスを活用した堆肥の生産

種子島・屋久島自動車学校跡地の整理は

町長 法的手続きを済ませ進めている



下田 敬三 議員
下田 自動車学校の土地使用料が未納となっていたが、その後、解決までの経過について説明を求める。

町が全ての財産の権利を取得しました。未納賃貸料につきましては、裁判等の結果に基づいて配当金を受け納入完了となっております。

町長 建物収去土地明け渡しの勝訴判決を受け建物の収去、不動産強制売買、強制執行申し立ての決定により、残存する事務所など本

下田 跡地の利用については、計画はあるのか見解を求める。
町長 民間業者がレンタル資材ヤードとして



▲自動車学校跡地の現在の様子

使用したいとの申請が出されています。しかし、本町としては、公共施設の建設の可能性や町民の有益な活用方法を図り検討すべきと考えます。

下田 福祉の里の一面であることから保育所や給食センター等を整備すべきではないか見解を求める。

町長 設置場所等を含めて、給食センターにつきましては教育長部局とも協議します。

また、保育所については、敷地等の広さが足りません。経費を抑えながらも土地を有効利用できる施設を造るべきと考えます。両施設とも早急に対応すべきですが、しばらくは

時間を頂き検討させていただきます。

町政評価の捉え方は

下田 2期目を振り返り町政評価をどのよう捉えているのか説明を求める。

町長 まずコロナワクチンの接種が、順調に実施され接種率も高くなっていきます。次に、

マイナンバーカード交付率も80%を越え全国でも上位に位置しています。

施策等で大きく動いたのが馬毛島問題だったと思います。防衛省より、本町への隊舎や関連施設の設置、浜津脇港をメイン通勤港とする旨の説明があり、再編交付金も含め、町

にとって大きな変化だと思えます。

下田 前副町長の町政にもたらした影響と今後の農水省とのつながりは。

町長 コロナ禍の中で町民・関係団体等の接触が少なく顔が見えないと指摘も受けました。しかし、ワクチン接種・文書管理・安納芋のGI認証取得等に助言指導をしていただきました。中央とのパイプについては、前副町長を介してすでに国の情報や国との交流方法などアドバイスを受けております。今後は、島内1市2町で共有する問題等を協議し、要請活動をするべきと考えます。



ワクチン接種の状況は

町長 大規模接種でオミクロン株 対応を実施

橋口 渉 議員

「全数把握見直し」で保健所管内ごとの市郡、例えば熊毛郡というような形での感染者のみテレビや新聞等で公表されておりま

「全数把握の見直し」で感染状況の把握が困難であるが町内の感染状況は。

町長 「全数把握見直し」で保健所管内ごとの市郡、例えば熊毛郡というような形での感染者のみテレビや新聞等で公表されておりま

感染予防の唯一の対策であるオミクロン株のワクチン接種の状況はどのようであったか。

町長 11月2日から6日にかけてまして、種子島中央体育館で大規模接種を行ったオミクロン株対応型ワクチン接種につきましては、接種対象者5065名に対し、2891名の方が接種されているところ

11月2日から6日にかけてまして、種子島中央体育館で大規模接種を行ったオミクロン株対応型ワクチン接種につきましては、接種対象者5065名に対し、2891名の方が接種されているところ

11月2日から6日にかけてまして、種子島中央体育館で大規模接種を行ったオミクロン株対応型ワクチン接種につきましては、接種対象者5065名に対し、2891名の方が接種されているところ

11月2日から6日にかけてまして、種子島中央体育館で大規模接種を行ったオミクロン株対応型ワクチン接種につきましては、接種対象者5065名に対し、2891名の方が接種されているところ

11月2日から6日にかけてまして、種子島中央体育館で大規模接種を行ったオミクロン株対応型ワクチン接種につきましては、接種対象者5065名に対し、2891名の方が接種されているところ

11月2日から6日にかけてまして、種子島中央体育館で大規模接種を行ったオミクロン株対応型ワクチン接種につきましては、接種対象者5065名に対し、2891名の方が接種されているところ

すが、市町村ごとの感染者の公表、これがなされたために把握が出来な状況になっていきます。

介護サービスを

介護サービスを

介護サービスを

介護サービスを

介護サービスを

介護サービスを

及び医師会、保健所などコロナ対策についての検討会を開催して

保健所からは、県の動向や取り組み、熊毛医師会からは、島内医療機関のベッド使用の状況であったり、診察に

保健所からは、県の動向や取り組み、熊毛医師会からは、島内医療機関のベッド使用の状況であったり、診察に

保健所からは、県の動向や取り組み、熊毛医師会からは、島内医療機関のベッド使用の状況であったり、診察に

保健所からは、県の動向や取り組み、熊毛医師会からは、島内医療機関のベッド使用の状況であったり、診察に

保健所からは、県の動向や取り組み、熊毛医師会からは、島内医療機関のベッド使用の状況であったり、診察に

保健所からは、県の動向や取り組み、熊毛医師会からは、島内医療機関のベッド使用の状況であったり、診察に

通学路の安全性は

通学路安全推進

通学路安全推進

通学路安全推進

通学路安全推進

側溝に蓋をかぶせる、歩道の幅を広げる、路側帯に白線を引くなどの対応をしてまいりました。令和2年度は、3箇所が指摘され、前年度残りの16箇所と合わせて19箇所になりました。そのうち対処できたのは3箇所でした。

令和3年度は6箇所

令和3年度は6箇所

令和3年度は6箇所

令和3年度は6箇所

令和3年度は6箇所

令和3年度は6箇所



▲星原小学校前の国道

横断しなければなりません。安全推進会議の中で関係機関等への働きかけは出来ないものか。

安全に横断す

安全に横断す

安全に横断す

安全に横断す

コミュニティバスの管理体制は

町長 民間業者に委託を検討



戸田 和代 議員

戸田 交通弱者、買物弱者に対するコミュニティバスが購入され運行に向け準備に入り、町民の皆様により便利に利用されやすく乗り降りが楽になるバスの管理体制は。

町長 新たな車両の管理については、民間に委託する予定です。

戸田 委託業者はどのように決定するのか。

町長 運行業務委託は、指名競争入札で事業者を決定する計画です。

戸田 バスのラッピングのデザインを、児童及び生徒から募集する考えはないか。

町長 大変良いアイデアですが、タイムスケー

ジュールの的に厳しい状況です。今回は素案を業者に提示し、それを基に進めて行く予定です。車体自体が、手すりやステップなどの改修で時間がかかるようです。ラッピングについても、数年毎にやりかえなければなりません。今回は、このようなスケジュールで進めたいと思っています。

町長 新たな車両の管理については、民間に委託する予定です。

戸田 町民に対してインパクトのあるデザインにしたい。本町にちなんだ歴史や文化、物産など、児童や生徒は素晴らしいアイデアを持っています。

町長 今回はスケジュール的に無理があります。担当部署で検討し、島の発信もでき、皆さんが喜ぶデザインを考え

戸田 現在、スクール

ていきたいと思えます。

戸田 コンパクトなバスの特徴を生かし、町内隅々まで運行するコースを検討して欲しいが。

町長 利用者の要望をしっかりと受け止め検討していきます。

戸田 少子化が進み児童、生徒の数が減少しています。今回のバスを、スクールバスにも運用できないのか。

町長 スクールバスとコミュニティバスは、契約が全く別です。運輸局等の協議が必要となります。しかし、検討していく必要性はあると思えます。

バスの運行経費として、4900万円が予算計上されている。兼用できれば、大幅な経費削減になるのでは。

町長 効率的で効果的な方法を探るのが、我々行政の仕事、検討させていただきます。



▲導入予定の車両



園中 孝夫 議員

花卉農家の後継者問題を どう考えるか

町長 就農者を育成・支援する



▲特産のレザーリーフファン

園中 県ブランド品のレザーリーフファンの後継者が増えてこない要因は。

町長 後継者や新規就農者を育成・支援します。

町長 人口減少問題が一番の要因です。後継者が増えないと認識しています。安定して収入も良いが手間がかかること、ハウス等の資材の高騰や施設の再整備でお金がかかりすぎることが理由です。

園中 資材の高騰などで取り組む人がいないのでは。

町長 手助けがいるのであれば、精一杯協力していくのが我々行政の仕事だと考えています。

園中 農家に対して何らかの対策を。

園中 生産農家の意欲を損なわない取り組みが必要では。

町長 色々な事業を調べ、町独自ではなくJAとも協議して、勉強しながらやっています。

園中 町独自の何らかの補助・助成は考えていないのか。

町長 ここでするとかしないとかは言えない。精査する必要がありま

園中 露地栽培の花弁農家にどのような取り組み、指導をしているか。そして現在の状況は。

町長 この露地物は一度収穫が始まると周年で収穫ができて安定した収入が見込まれます。県が3分の1、町が3分の1を4年間補助する事業を活用させたり、病害虫対策と挿し穂の勉強会などをして取り組んでいきます。生産意欲のある方には支援という形は必要性があると

思っています。

「ウミガメ留学」の 受け入れ状況は

園中 児童減少対策の「ウミガメ留学制度」の成果と問題点は。

教育長 平成11年に油久小が始まり、14年には岩岡小が加わり、その後平成17年に岩岡小だけになりました。令和元年に星原小が加わって現在2校となっています。この間延べ129名を受け入れている。おおむね達成できていると思います。

園中 制度の中に孫戻し留学制度は盛り込まれていないが親戚留学制度の中に含まれているのか。

教育長 募集基準の中で校区内の親戚・3親等以内となっているので祖父母も入っていると認識しています。

園中 現在の小規模校

と言う定義は何名以下をさすのか。

教育長 6学級以上11学級以下を指しています。中種子町の場合は6つの学校が過小規模校と言った分類になります。

園中 油久小が受け入れを辞めた理由は。

教育長 受け入れ側の里親の確保ができなかったと聞いています。

園中 この取り組みに町としてどういった取り組みが大事か再検討の余地は。

教育長 留学制度については里親がいるか。家族留学には受け入れ住宅があるかが一番の問題です。その為に校区で受け入れられるかを考えてもらいたい。情報に関しては提供も知恵も出したと思っています。小学校存続は大事な事だと認識しています。

令和4年12月定例会

12月定例会は、12月7日招集され、15日までの9日間の会期で開かれました。

初日は、6人の議員が一般質問を行いました。2日目に補正予算4件、条例改正及び制定7件、同意1件、契約2件など原案どおり可決しました。

最終日は、補正予算1件、発議2件を原案どおり可決しました。

出産・子育てを支援 505万円



核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、孤立感や不安を抱く妊婦・子育て家庭も少なくない。そこで、妊婦・子育て家庭に寄り添い相談に応じる。また、経済支援として、妊娠届出時、出生届後にあわせて10万円相当を支援する。

令和4年度12月補正予算

補正予算の概要

一般会計補正予算(第8号)は、歳入で新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び教育保育給付事業扶助費の増額。歳出ではふるさと応援寄附金返礼品経費の増額、台風14号災害復旧経費の計上が主なものです。

一般会計補正予算(第9号)は、国の補正に伴う「出産・子育て応援交付金」の支給を速やかに行うため関連経費を緊急に計上するものです。

会計毎の補正額と予算の総額は、別表のとおりです。

補正予算の主なもの

ふるさと応援寄附金返礼品経費



1,435万円

ふるさと応援寄附金返礼品経費の増額。

災害復旧費



1,309万円

台風14号災害、農地2件、施設1件、社会体育施設4カ所。

扶助費



3,064万円

障害福祉サービス、障害児通所サービスの利用増及び保育士・幼稚園教諭等の処遇改善に対する増額。

令和4年度会計別予算額

[別表]

会計名(補正号数)		補正額	補正後の予算額	
一般会計	(第6号)	1億320万円	79億465万円	
	(第7号)	183万円		
	(第8号)	7,592万円		
	(第9号)	505万円		
特別会計	国民健康保険事業	(第3号)	△38万円	13億9,928万円
		(第4号)	△3,130万円	
	介護保険事業	(第3号)	20万円	12億9,897万円
		(第4号)	△57万円	
	後期高齢者医療	(第3号)	5万円	1億5,893万円
	水道事業会計(収益的支出)		(第3号)	43万円

質疑応答

問 星原小学校体育館スロープの設置場所は。

答 グラウンド入口の東側に設置します。

問 変更契約の内容は、物価高騰が影響しているのか。

答 物価高騰の影響ではありません。追加工事のみの増額です。

問 工事の契約において、増額の変更契約が多いが、適正な処理か。

答 工事に着工してから新たに発生する工事があり、適正に処理している。

問 2ヶ月の間に職員の仕事が3件であるが、多いのでは。また、指導体制はどうしているのか。

答 2ヶ月間に3件は多いと思います。反省をしており、これまでに以上に課長を中心に再発防止に取り組んでいます。

契約

星原小学校体育館改修工事請負変更契約

星原小学校体育館改修工事について変更が生じたため、154万9千円を追加し、変更後の金額を5258万9千円とするものです。

変更契約の目的は、壁面の爆裂部分が新たに目撃され、その箇所の補修とスロープの新設です。

風力発電施設解体工事請負変更契約

風力発電施設解体工事について、変更が生じたため、287万円を追加し変更後の金額を7294万円とするものです。

変更契約の目的は、大型クレーン設置位置の地盤試験の追加及び解体に伴う産業廃棄物処理方法の変更によるものです。



▲昨年解体された風車



条例

■職員の高齢等に関する条例の一部改正

国家公務員の定年が令和5年度から段階的に65歳まで引き上げられることに伴い、地方公務員の定年についても、同様に引き上げる必要があることから、本条例の一部を改正するものです。

■地方公務員法一部改正に伴う関係条例の制定

地方公務員の定年延長に伴う地方公務員法の一部改正に伴い、必要な事項を定めるため、関係する7条例を制定するものです。

■職員の高齢者部分休業に関連する条例の制定

職員の定年引き上げ

及び地方公務員法の改正を踏まえ、職員の高齢者部分休業の導入に關し、必要な事項を定めるため本条例を制定するものです。

■中種子町個人情報保護法施行条例の制定

令和5年4月1日から個人情報保護に関する法律において全国的に統一されたルールが設けられたため、本条例を制定するものです。

■中種子町個人情報保護審査会条例の制定

個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、個人情報保護審査会を設置し必要な事項を定めるために制定するものです。

■中種子町情報公開条例の一部改正

個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、情報公開等における取り扱いについて、本条例の一部を改正するものです。

■中種子町国民健康保険基金条例の一部改正

本町の国民健康保険事業勘定特別会計の健全な財政運営に資するため、改正するものです。



恒例のさとうきび操業を視察

12月15日議会定例会終了後、全議員で今期の安全操業と激励を兼ねて新光糖業への視察を行いました。

前田社長の挨拶、塩浦農務部長からの説明がなされ、今期は非常に強い台風が襲来したものの回復してきている。中種子町の反収は6・7ト、種子島全体では6・4トで14万9千トを見込んでいるとのこと。

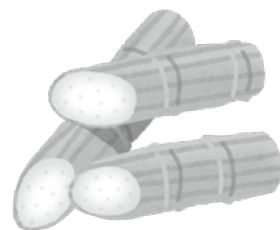
また、バガスの処理については、農地に還元し有効利用したい。そのためにも行政と検討し堆肥化を進めていきたいとのことでした。

また質疑では、「新鮮キビ」とは収穫後3日以内の搬入である。無脱葉の搬入については、30haを試験的に実施す

る。精脱葉施設で処理が追いつかなくなった場合を想定している、とのことでした。その後は、工場内にて圧搾から砂糖結晶の分離工程までを見学しました。今期の操業は、4月13日までの予定です。



▲圧搾工程



委員会レポート 産業厚生委員会

祝 全国和牛共進会優勝

去る10月6日、7日の両日、鹿児島市及び霧島市において、「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会」が及びその影響や効果について調査を実施しました。

まず、6日午後から鹿児島市自治会館内会議室において、県畜産課職員より鹿児島県の畜産の状況、特に和牛の現状と今後の見通しについて話を伺いました。

その中で、鹿児島県は、全国有数の畜産県であり、飼養頭数で見ると肉用牛1位、豚1位、ブロイラー2位となっている。特に今回の全共で競われる繁殖雌牛においては、2位の宮崎県を大きく引き離しているが、今後伸びてくると予想されるのが3位の北海道である。現在は相当の開きがあるが、乳牛、乳用牛等の酪農基盤が和牛に転換されるとあつと言間に抜かれるのではと危惧している。ただ、これは生産基盤の強化になり、全体で考

えると悪い事ではない。今後、北海道と南九州が肉用牛の中ではリーダーという形になると思いますが、どの地域においても高齢化、担い手不足というのが課題としてあります。なかなか難しい問題ですが、各市町村の若者を地域に残す取り組み、そういったものともタイアップしながら、地域に若い人達を担い手として残していきたいと考えています。

次に、全国和牛能力共進会について、説明を受けました。

この共進会は、全国の優秀な和牛を一堂に集めて、改良の成果やその優秀性を競う大会です。審査区分は1区から8区までと特別区の9つの部門であり7区、8区においては肉質の評価が審査されるが、7区については、脂肪の質が評価されるとのことです。和牛の旨みの要素である脂肪がどう評価されるのか。注目される場所です。との説明でした。

二日目は、霧島会場で現地調査を行いました。審査エリアへは入場制限



▲ 県の職員から説明を受ける

があり、ライブ映像での見学でしたが全国規模の大会を見られたことは貴重な経験でした。

質疑応答

問 近年、嗜好の多様化により赤身肉を好む傾向にあるが、県としての方向性は。

答 多様なニーズのひとつとして赤身嗜好がある。安い牛肉を求めめる傾向が赤身肉嗜好につながっている。ただ、和牛に求められているのはおいしさです。良質の脂肪が程よく入ったいわゆるサシの入った牛肉です。我々が目指すのはおいしい牛肉です。

問 飼料高騰に対して県の考えは。

答 まずは、自給飼料の確保です。あと、未利用資源の活用です。カスやつる、残渣など使えるものはできるだけ活用することです。

まとめ

本町は農業を基幹産業としております。そしてその中核を担っている和牛生産を中心とした畜産の振興無くして町の発展はないものと思えます。今回の研修の中で、和牛の持つポテンシャルは高いものがあり、輸出分野においても新たな展開も見られることから、今回の全共を契機として、更なる飛躍を期待するものであり、高齢化や、資材高騰等の課題についても、関係機関が一体となり取り組んでいくことが何より重要であるとの全委員一致した意見でした。



▲ 会場では地元物産品のブースも

委員会レポート 総務文教委員会

地域活性化の取り組み



▲ くまもんがお出迎え

令和4年10月20日から21日までの日程で、熊本県で行われました「全国過疎問題シンポジウム 2022 in くまもと」に参加し調査研修を行いました。

最初に、令和4年度過疎地域持続的発展優良事例表彰式があり、4団体が総務大臣賞を受賞されました。また、全国過疎地域連盟会長賞として4団体が受賞されました。

表彰委員会委員長の講評で、過疎を嘆いてもしょうがありません。今いる人たちがいい関係を築き、それに外部の人や移住者がいい形で絡み合えば地域が盛りあがる。人と人の新たなつながりこそパワーの源(みなもと)ですと話がありました。

基調講演では、明治大学教授の小田切徳美先生による「にぎやかな過疎に向けて」の講演

がありました。新過疎法の特徴と意義を踏まえ、過疎地域再生の地域戦略を立て地域創生を図っていくこと。都市圏からの観光などによる偶然な訪問から興味をもってもらい、関係人口を増やすこと。そして、その地域に仕事の場合、雇用があることよりも、なにかしら新たな仕事をにつくっていくことができる土壌に、意識や志の高い人々が引き寄せられるのではないか。そこに「地域づくり」と「田園回帰・関係人口」の好循環が生まれる。その結果、にぎやかな過疎ができるのではないかとのことでした。

21日は、第3分科会に参加しました。水俣市では、暮らしている場所や身体状況などに関わらず、適切に医療を受けられ、住み慣れた場所

所で安心して暮らし続けることができる地域を目指し、ICTを活用したオンライン診療等の実証事業を実施している。それにより、へき地における医療資源の確保や、移動が困難な方、介護する方などの受診の負担軽減、災害時の医療の維持継続などの実証を踏まえ、今後のICT技術の活用に期待することなどについてパネルディスカッションが行われた。パネリストからは「困っている人に寄り添える」、「離れた場所での診療であるが、心が近い」、「住み慣れた環境から受診できる」、「受診時の時間拘束を解消できる」、「専門知識に裏付けられたアドバイスが期待できる」などの意見があった。



▲クラウド超診(聴診)を体験中

本町も過疎問題は最大の関心事である。今後も過疎地域の課題解決に向け、「にぎやかな町づくり」により関係人口を増やし定住に繋げる。また、ICTの活用により、住み慣れた場所です心安心して暮らしていることができれば、地域づくりを、関係機関と一体となって取り組むことが重要であると全委員一致した意見でした。

まとめ

●再編交付金等の活用方法に関する決議

【提出者】

濱脇重樹 外10名

【趣旨】

これまで、自衛隊誘致並びに馬毛島移設問題調査特別委員会は、令和元年6月に設置して以来、積極的に調査、研究と活動を実施してまいりました。

この間、自衛隊馬毛島基地（仮称）施設整備は、大幅に進展し、各市町には、それぞれ施設の配置計画が示されました。

9月には再編関連特定周辺市町村に指定され、再編交付金も、本年度約1億9400万円が交付されます。この交付金の活用方法について、議会の考え方を示します。

①交付金・補助金の活

用については、広く市民の利益に資するものとし、併せて中種子町発展に寄与するものであること。

②交付金等の交付期限もあることから、期限後においても活用できるような基金等の検討を行うこと。

③具体的施策・事業の選定については、中種子町の将来に係る事業であることから、若手職員や関係機関等幅広く意見を求めること。

④具体的施策及び事業の選定については、中種子町長期振興計画等との整合性を図りながら、持続可能な施策・事業であること。

●中種子町議会の個人情報保護に関する条例の制定

【提出者】

迫田秀三 外6名

【趣旨】

個人情報保護の関連法律が、一本の法律に統合されたため、民間、国の行政機関、独立行政法人、地方公共団体ごとにばらばらであった個人情報保護制度が統一されることとなります。しかしながら、

地方公共団体の議会については、国会や裁判所と同様、その独立性を確保するという考えから、基本的に、この法律の適用対象から除外されています。

このことを踏まえ、個人情報保護法が令和5年4月に施行されることから、法律の共通ルールに沿った、議会の個人情報保護に関する条例を制定するものです。



一部事務組合

◆中南衛生管理組合議

令和4年第2回定例会（9月21日）

令和3年度一般会計歳入歳出決算認定については、歳入決算額2億3909万2千円、

歳出決算額2億3154万6千円で、差引残額754万6千円となり、採決の結果認定されました。

また、令和4年度一般会計補正予算は、753万5千円を追加し、総額を1億73万2千円とするものです。

◆公立種子島病院組合議
令和4年第2回定例会（9月21日）
令和3年度の病院事業会計決算認定については、収益的収入及び支出で、収入が10億2191万2千円、支出が

9億8267万円で、当年度純利益は3924万2千円となり、採決の結果認定されました。

令和4年度病院事業会計補正予算は、収益的収入に7500万円

追加し、9億9957万9千円とし、収益的支出に7429万6千円を追加し、10億722万4千円とするものです。

◆熊毛地区消防組合議
令和4年第2回定例会（10月3日）
令和3年度一般会計歳入歳出決算認定については、歳入決算額9億7588万5千円、

歳出決算額9億4698万1千円で、差引残額は2890万4千円となり、採決の結果認定されました。

令和4年度一般会計歳入歳出決算認定については、歳入決算額7億1718万7千円、

歳出決算額7億356万円で、差引額は1362万7千円となり、採決の結果認定されました。

◆産婦人科医院組合議
令和4年第2回定例会（10月3日）
令和3年度産婦人科医院組合事業会計決算認定については、事業収益2億7493万8千円、事業支出2億6855万3千円で、当年度純利益638万5千円となり、採決の結果認定されました。

◆広域事務組合議
令和4年第2回定例会（10月3日）
令和3年度一般会計歳入歳出決算認定については、歳入決算額7億1718万7千円、

歳出決算額7億356万円で、差引額は1362万7千円となり、採決の結果認定されました。

Youは何しに中種子町へ?

Why did you come to Nakatane?



移住者インタビュー



このコーナーは、中種子町に移住された皆さんに登場していただき、もっと議会だよりを身近に感じて欲しいと思います。

また、ご一報いただければ取材にお伺いします。よろしくお願ひします。



▲お店の前で

楽しい会話と美味しい食事をどうぞ！

今回は居酒屋「ひなの屋」を経営している、宮地ご夫婦を紹介しします。

◆自己紹介をお願いします

野間校区在住

宮地 明 みやじ あきこ

(50)

晃子 あきこ

(51)

◆移住のきっかけは

若い頃、日本一周の旅をした際、サーフィンのできる種子島が好きになり移住を決めました。

波については最高です。

◆現在のお仕事は

居酒屋「ひなの屋」を経営しています。店名は

娘の名前から付けています。

たかさんの方と話をするのが好きで、居酒屋を始めました。女子会で利用していただければ盛り上げますよ。

それと農業もしており、スナップエンドウを栽培しています。

◆趣味は

現在の趣味は、ゴルフ、

畑の土いじり、自宅のリフォームです。仕事も楽しくやる方で、楽しまないとは損ですよね。

◆移住しての感想は

種子島の良いところは、本土と近くて遠いところ。サーフィンするにも、本当に好きな人だけが集まっているので、波もいけどその、集まり具合が良い。確かに、本土への病院や子どもの遠征など、不便で交通費は高いので、そこは困ります。離島割引が無いと考えると、ぞっとします。



議会傍聴においでください。

令和5年第1回(3月)議会は8日に開催予定です。

中種子町議会では、インターネット(YouTube)で本会議の中継を視聴することができます。会議録も議会ホームページに掲載しています。是非ご覧ください。



議会HPのQRコード

編集後記

あけましておめでとうございます。

旧年中は相変わらずのコロナ禍の中で、各イベントの中止が続きました。賑わいがありませんでした。そのような中、サトウキビ、ブロッコリー、ジャガイモ等の収穫で活気づいています。しかし、世界に目を向けると、未だに各地で紛争が起きています。どうか一日も早く、世界情勢が落ち着き、平和な日々が全ての方に訪れますように。

広報編集委員会

委員長 濱脇 重樹

副委員長 戸田 和代

委員 迫田 秀三

浦邊 和昭

橋口 渉

池山 喜一郎

